

# 英語を楽しく

No.356

☆ **be going to** を使うと

**be going to** は、予定していたことについてのみ言う(使う)ことができます。例えば、

- ① 「明日、京都に行こう。」と決めた時点では、  
**I will visit Kyoto.** と言いますが、
- ② 京都に行く(と決めた)ことを、誰かに言うときには、  
**I'm going to visit Kyoto.** と言います。



{**be going to**} を学校では、近接未来の文と習ったことと思いますが、他に未来を表す言い方があります。

**be (just) about to** (まさに)・・・しようとしている  
・・・するところである

差し迫った未来と表し、副詞・副詞句を共わないのが特徴

**Something terrible is (just) about to happen.**  
何か恐ろしいことが今にも起ころうとしている。

**I was (just) about to go out when the phone rang.**  
外出しようとしていると電話が鳴った(結局その時外出できなかった)

**be 動詞+ing** (進行形を使う)

=〇〇をしようとすることへの準備が進んでいるということで進行形を使う

**Mr. Baker is leaving for Boston this evening.**

ベイカー氏は、今日の夕方にボストンに行く予定です(行きます)。

○ 未来のことでも現在形で使う時 ⇒時・条件を表す副詞節

Tell me about it when he comes home.

副詞節 彼が帰ってきたとき

(注) Tell me when he will come home.

名詞節 いつ彼が帰って来るか教えてください。

(名詞節は when~文のとき、助動詞を必要とします)

副詞節は「とき」名詞節は「いつ」と訳すことを覚えておくといいいでしょう。